「しんきん秋桜会」開催

副会長に東京東・中田氏

道央情報サービスなど

【札幌】高速道路通行料金の割引サービスを組合員に提供する北海道の道央情報サービス協同組合（札幌市、鶴嶋浩二理事長）とエス・バイ・エス事業協同組合（同、松浦良一理事長）は10月20日、提携85信用金庫（2026年9月末）を会員とする顧客組織「しんきん秋桜会」の講演会および懇親会を芝パークホテル（東京都）で開いた。信金理事長23人を含む関係者40人が参加した。



抱負を述べる東京東信金の中田会長（10月20日、芝パークホテル）

2組合は、24年10月に顧客紹介で提携する全国の信金への感謝の会としてしんきん秋桜会（吉本淳一会長＝北海道信用金庫理事特別顧問）を設立。吉本会長は「2組合のサービスは、大きな経営支援効果がある。ここにお集まりの皆さまには、近隣の未提携信用金庫のトップの皆さまなどにこの良さを伝えてほしい」と呼びかけた。また、2組合と提携信金との連携強化を目的に副会長職を新設し、東京東信用金庫の中田清史会長を選出した。

講演会では、日本野球機構パシフィック野球連盟の元審判員である山崎夏生氏が審判員の格好をして登壇。「一途一心の野球道（みち）」と題して、山崎氏が野球に出会えた喜びや情熱、29年間にわたる審判員としての苦労、諦めずやり切ることの大切さなど人生訓を伝えた。

懇親会では、副会長に選ばれた東京東信金の中田会長が「皆さまとともにこの会を盛り上げていきたい。本日のご縁を大切にし、信用金庫同士の親睦をさらに深め、今後の連携につなげていきたい」と抱負を述べた。